

道徳授業の評価表（例）

月 日（ ）第 校時、第 学年 組、授業者氏名 評価者  
 主題名（ ） 指導内容（ ）  
 資料出典（ ） 出版社・発行所（ ） 種類

		評 価 の 観 点	評 価
導 入		1. 学習のねらいについて、興味や関心をもたせているか。	
展 開		1. 資料の利用のしかたが工夫されていたか。	
		2. 価値に迫るために、発問の工夫がなされていたか。	
		3. 実践の場をひろげさせるための工夫や配慮がなされていたか。	
終 末		1. 実践意欲をたかめる指導がされたか。	
		2. 教師の価値感をおしつけるようなことはなかったか。	
		3. まとめ方は、ねらいに適合していたか。	
時間配分		1. 時間の配分は、適切であったか。	
資 料		1. 資料の分析は、十分であったか。	
指導計画		1. 資料は、児童の発達段階に合ったものであったか。 2. ねらいは、児童の発達段階に適切であったか。 3. 指導の時期は、適切か。	

評価表で実際の授業を評価した結果、①必要な観点だけにしぼること。②展開の資料に関するところでは、利用法と工夫は別のことから、観点をもっと細分化する必要があるのではないか。③評価（○△×）の三段階評価が必要 などが、今後の実践で、検討し、改善しなければならない課題として残った。また、日常の授業で自己評価する場合、どの程度、細分化されたものが、使用可能なかということも、機能面から問題となる。